

庁舎・福祉会館の建設 準備状況は大丈夫なのか？



小金井で元気に！ 小金井を元気に！

五十嵐京子

通信
第51号

小金井市議会議員

2019年10月発行

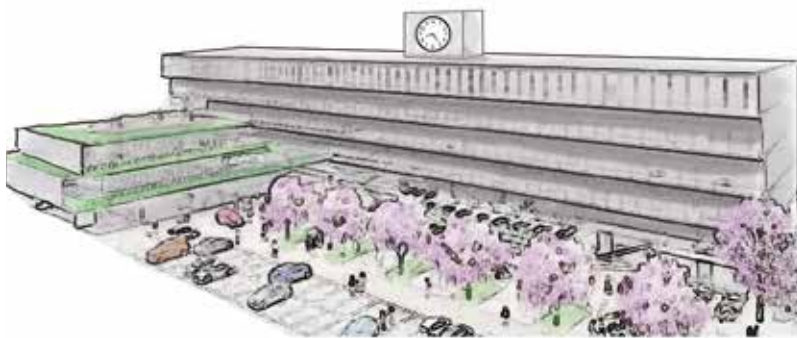
五十嵐京子を支援する会

今年度で基本設計を作成の計画だが！？

課題解決を急ぐべき！

今年の十二月で西岡市長は一期目の任期満了を迎えるため、九月議会ではこの四年間の評価に対する質問が相継ぎました。元々四年前の選挙の際に図書館も含めた六施設複合化を公約として当選した西岡市長でしたが、この間迷走が続き、ようやく庁舎・福祉会館の複合化の方向性が決まり、基本設計に入っています。

しかし、ここに至るまでには、議会から十項目以上の条件を提案し進めてきた



「ときを刻む町」のシンボルとしての時計設置を望む声も多い。設置されれば中央線からも良く見え、PR効果は大きい。

課題1 防災対策

近年続く様々な自然災害、中でも首都直下型地震に対する備えは官民を問わず求められており、自主防災会の設置や行政からの支援を求める声が続くなど議会でも活発に質疑が行われています。

新庁舎建設に向け、まずいざという時の対応ができるスペースの確保や対応策の構築が必須であると思われます。これまでも市議会では防災対策の進捗状況について問う声がありましたが、市としての新たな方針は示されてきませんでした。庁内での検討状況を議事録から見ると、防災対策

経過があり、これまで行政内部の準備不足が目立っています。いくつかの懸案事項も「基本設計の時に解決をする」と明言もしており、今しつかりと方向性を決めておくべき事柄に対する対応状況には未だに未定で進捗に不安を感じる現状があり、この先が懸念されます。次にあげた課題は多額の費用がかかることが予想されるため、今後の財政計画を立てるためにも早い方針の決定をすべきです。

課題2 ICT(情報通信技術)整備方針

今年6月に示された整備方針は、様々な技術的な可能性を示した資料としての成果物であり、庁舎建設にあたっての方針とするには、この中のどの部分を採用していくかが明示されなければなりません。億単位の費用を要する部分であり、しっかりと検証し早急に示していただく必要がありますが、こちら

課題3 組織改正

市役所の組織も時代のニーズにより是正されていくのは当然ですが、小さな改善を



積み重ねると共に、約10年に一度は大きな組織改正が行われるものです。新庁舎の設計は各課の職員数をベースに行われるため、新庁舎建設時に改正されるのが一番合理的で無駄のない方法です。西岡市長も昨年までは新庁舎に合わせて組織改正を行う意思を議会に示していました。今年からはトーンダウン、最近では大きな組織改正は新庁舎移転後と担当課長からの答弁が出るようになりました。各課の職員数で机の配置等も決まり、課ごとの仕切りも決まってきました。組織改正には仕切りの移動やパソコン等の配線の移動等手間暇と費用が必要になります。大きな組織改正を庁舎移転後にすることは、一度作った配置をまた作り直すことであり、それこそ無駄遣いであり、再考すべきです。

課題4

福祉総合相談窓口の設置

この総合窓口に関しては、意見の隔たりが埋められないままに現在に至っています。市では現在、社会福祉協議会に委託し、生活困窮者等の自立支援のための相談窓口を実施しています。福祉総合窓口をこの相談窓口の充実版としていきたいとする市の考え方と、福祉総合窓口と言っても納税の問題など複数の課題を抱えている場合が想定されるため、市役所に置き、制度の活用や手続きをスムーズにできるようにすべきとする議会多数の意見が平行線のままになっています。

全体の財政計画も早く示すべきと考えます。

庁舎・福祉会館の構造について 西岡市長、自らの判断の遅れをお詫び

複合化される庁舎と福祉会館の建物の構造については、公共施設でも異なる基準が設定されており、より高い基準が設定されている庁舎は免震構造（地震の時に揺れを小さくする）とすることに異論はなかったものの、福祉会館側に関しては耐震構造が免震構造かの意見が分かれていました。これに関しては、西岡市長は基本設計の時に計算を基に判断するとしており、その判断が八月中には示される予定でした。しかし、八月二十二日に開催された庁舎建設に関する特別委員会では示されず、その理由についての質疑がありました。それによると、資料は七月中にできていたものの、西岡市長自身が決断を出来なかったことが分かり、あらためて九月議会の中で市長報告が行われました。その中で、西岡市長は自らの判断が遅れ、議会運営に迷惑をかけたことを謝罪しました。

既に、プロポーザルで業者選定を行った際に、業者の側からは複合でも構造の違う対応が可能との説明も受けており、余りにも遅い市長の判断は、自ら来年春の基本設計完成を表明しながら、これからは庁舎建設における予定の遅れを招きかねないものです。

庁舎は免震、福祉会館は耐震で

なお、市長報告では、庁舎は地下免震構造、福祉会館は耐震構造の連結免震という方法を採用することを明言しました。この方法によると、庁舎・福祉会館ともに免震構造より、概算コストで八億円安く工期も福祉会館が七か月早く竣工できると説明されました。

オリンピック・パラリンピック2020を みんなで応援しよう！



来年実施されるオリ・パラに向け、今年是小金井でも自転車ロードレースのテストイベントが行われました。

更に、オリンピックで女子マラソンに出場する選手に、日本郵政グループの鈴木亜由子選手が選ばれました。小金井の郵便局に勤めていらして、小金井に縁のある選手です。市民として皆で応援してまいりましょう！



7月のテストイベントの様子

<http://igarashi-kyoko.com>

五十嵐京子 (検索)

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

小金井市議会議員

五十嵐京子

通信
第51号

2019年10月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920